

他者参照等の手法を取り入れた思考・判断・表現力を鍛える指導

4 教員の変容と児童の状況

1学期は「ICTの利活用促進」という漠然とした目標を掲げていたが、2学期より標題のとおり、具体的な目標に変更した。その結果、教員のスライドの利用状況が大幅に増加した。

		ドキュメント	スプレッドシート	スライド	フォーム	ジャムボード
2 学期	R4	109	62	38	36	5
	R5	400	135	255	101	26
3 学期	R4	220	68	55	71	5
	R5	294	100	328	81	30

※ R5の3学期は2月26日時点

5 他者参照の効果～児童のアンケート結果から～

- 深く考えるきっかけが得られる（新しい気づきを得られ、自分の考えが広がった。みんなの意見から「次からはこうしよう」と考えたり、いろんなことを学べたりできた）。
- 一人では難しい課題でも、見通しがもて、挑戦する（友だちの意見をもとに、自分の意見をまとめることができた）。
- 自分の考えと同じ友だちがいることがわかり、自信をもって、課題に取り組める。
- 一人ひとりが活躍する機会が増える（普段は人前で話せない友だちの意見も見ることができているのが良い）。

6 その他の効果と本校の今後の課題

児童は、ICT機器が情報の検索、共有、発表に活用できることから、端末を使った授業を楽しみにしている。

	肯定的回答	否定的回答
クロームブックを使った学習は好き	95.0%	5.0%
クロームブックを使った授業はわかりやすい	91.0%	9.0%
クロームブックを使って、自分の考えをまとめることができた	92.7%	7.3%
クロームブックを使って、まとめたことを、友だちに伝えることができた	85.8%	14.2%
必要な情報を調べることができた（4～6年のみ）	94.2%	5.8%

- ▲ めあてや個々の特性に応じた媒体の柔軟な選択（小学校の時は紙に書いたほうがいい。なぜなら人は、紙などに書いたほうがよく覚えるから。だから、中学校や高校以上で、デジタルがいいと思う。⇨自分は鉛筆で書いたりするのが嫌いだが、クロームブックを使うとすらすら書ける）。
- ▲ 授業の効率化（クロームブックを使うことで早く授業が進むことがある）。

変化の波（利活用推進）と
研修（活用意義の理解の深化）の継続

主体的・対話的・深い学びのさらなる推進へ